

熊本県立菊池少年自然の家 指定管理者 令和4年度(2022年度)
管理運営評価票

所管部課:教育庁市町村教育局社会教育課

I 施設の管理概要

指定管理者名	ひとづくりJAPANネットワーク・三勢共同体
指定期間	令和4年4月1日から令和9年3月31日まで
施設概要	<p>① 所在：菊池市原4885番地5</p> <p>② 施設：宿泊棟、研修室、体育室、キャンプ場等</p> <p>③ 目的：本施設は、健全な青少年の育成と県民の生涯学習の振興を目的として設置された県立の青少年教育施設である。宿泊施設及び各種の体験活動のための施設・設備を活用して、利用団体による自主的な研修利用のほかに、自然や季節の特徴を活かした教育的プログラムとして企画事業を実施している。自然の中での体験活動が中心であるため、特に利用者の安全確保に留意して運営している。</p>
指定管理料	311,073,000円（4施設（天草青年の家、菊池少年自然の家、豊野少年自然の家、あしきた青少年の家）を一括で委託、利用料金制）

II 管理運営の評価

1 管理業務の水準の評価

管理業務の水準を表す指標	目標値	実績値	備考
研修者延べ数	13,556人	20,066人	前年度実績12,200人
研修活動中の事故の有無	0件	0件	軽傷を除く

【点検・調査結果及び評価】

新型コロナウイルスの影響で受入数を定員の概ね半数を目安としているため、研修者延べ数はコロナ禍以前（平成31年度）と比べると減少しているが、令和3年度実績と比べると増加し、結果として目標値を上回っており、利用者の呼び戻しに向けて、工夫しながら受け入れを行ったと認められる。

県では、特に施設における利用者の安全確保を重視し、指定管理者への指導を徹底しているため、期間中の事故発生が0であった点について評価できる。

2 管理業務実施状況

① 施設維持管理業務実績

作業項目	業務内容	実施回数	備考
清掃	所内清掃	通年	
保安・警備	宿直業務	通年	
	給湯運転監視	通年	
保守点検	電気設備保守点検	年6回（隔月）	専門業者に委託
	身障者用昇降機点検	年1回	同上
	消防設備保守点検	年2回	同上
	自家発電設備保守点検	年2回	同上
	監視カメラ保守点検	月1回	同上
	空気環境測定	年5回	
	害虫駆除	年1回	専門業者に委託
	受水槽・高架水槽清掃	年1回	同上
	水質検査（残留塩素）	週1回	
	浄化槽保守点検	年24回	専門業者に委託
	浄化槽清掃	年1回	同上
	浄化槽法定検査	年1回	同上
	水質検査	年1回	同上
	塩素滅菌設備点検	月1回	同上
	建築設備定期点検	年1回	
<p>【点検・調査結果及び評価】</p> <p>施設設備の清掃、保安・警備および点検等については仕様書どおり専門業者が実施、頻度・内容ともに水準を満たしており、良好に管理されている。</p>			

② 運営事業実績

〔主な事業・イベント〕

事業・イベント名	開催時期	参加者数	趣旨・内容
集団宿泊教室担当者セミナー ①～⑦	4/18～ 10/12	110人	施設を利用予定の集団宿泊教室担当者に、研修の意義や効果的な利用方法について習得してもらう。また、体験活動における指導者の安全管理意識及び指導技術の向上を図り、充実した集団宿泊教室を実施してもらえるようにする。
ファミリーキャンプ ～スプリング編～	5/7～8	34人	自然体験活動を通して、家族の絆を深める。さらに、アウトドアで過ごす楽しさを味わいながら、家族での思い出作りの機会とする。

夏だ！川だ！サンサンサマー ①・②	7/23～24	48人	川遊びを通して、子ども達の交流を深めながら、生きる力を身につけるとともに、自然に親しみ豊かな心を育てる。
幼保連携事業（全6回）	5/10～ 3/24	190人	(1) 幼児期における自然体験の機会を増やし、自然体験活動を通して、幼児期における人間形成の基礎（知・徳・体）を培う。 (2) 保護者にとって、自然体験活動の楽しさや自然体験活動を子育ての中に入れていく重要性を知る機会とする。 (3) 幼稚園・保育所と自然の家が連携して、自然体験活動におけるプログラム提供や指導法について情報交換を行う。
スマイルキャンプ（全9回）	6/16～ 1/31	114人	自然体験活動を通して、達成感や満足感を味わい、子ども達の自尊感情を高めるとともに、他参加者との交流を深める。
ドキドキ！わくわく！サマー キャンプ！！	8/21～22	25人	野外活動を通して、異年齢集団の子ども達の交流を深めながら、生きる力を身につけるとともに、自然に親しみ豊かな心を育てる。
ファミリーキャンプ ～オータム編～①・②	11/6 11/13	44人	自然体験活動を通して、家族の絆を深める。さらに、アウトドアで過ごす楽しさを味わいながら、家族での思い出作りの機会とする。
ワンデイフリーキャンプ	11/23	19人	自然体験活動を通して、キャンプの基礎に触れる。さらに、アウトドアで過ごす楽しさを味わいながら、秋の一日の思い出作りの機会とする。
新春どんどやキャンプ	1/21～22	33人	地域交流事業の一環として、水迫地区との共催事業を行い、日本の伝統文化を学ぶとともに、参加者との交流を図る。
通学合宿A・B・Cグループ	2/4～ 2/22	68人	自然体験活動を通して、達成感や満足感を味わい、子ども達の自尊感情を高めるとともに、他参加者との交流を深める。
<p>【点検・調査結果及び評価】</p> <p>令和4年度は32事業を実施し、令和3年度の17事業と比べて大幅に増加した。32事業のうち24事業は関係機関と連携し、より質の高い事業展開と地域とのつながりを持つことができたことや、Google フォームを活用し、参加者が応募しやすい環境づくりに努めている点については評価できる。</p> <p>地域の自然等の特色を活かしたプログラムを実施した他、より多くの人に自然体験活動の機会を提供したことは評価できる。</p>			

3 利用状況

施設名	年計	年計	前年度計	前年度比
本館	開館日数	359 日	359 日	100.0%
	宿泊可能日数	338 日	244 日	138.5%
	利用日数	237 日	167 日	141.9%
	利用率	66.0%	46.5%	142.0%
	利用者実数	7,377 人	5,389 人	136.9%
	利用者延べ数	13,378 人	8,462 人	158.1%
キャンプ場	開館日数	359 日	359 日	100.0%
	宿泊可能日数	338 日	244 日	138.5%
	利用日数	8 日	5 日	160.0%
	利用率	2.2%	1.4%	159.2%
	利用者実数	126 人	78 人	161.5%
	利用者延べ数	160 人	117 人	136.8%
出前講座等	利用者実数	5,177 人	2,367 人	218.7%
<p>【点検・調査結果及び評価】</p> <p>令和 4 年 12 月から受入れの制限を解除したこともあり、前年度に比べて利用者が増加しており、コロナ禍以前の利用者数に戻りつつある。利用者が増加した中で、新型コロナウイルス感染拡大防止対策をしっかりと行い受け入れを行ったことは評価できる。</p> <p>出前講座については、コロナ禍以前の水準に戻りつつあるが、利用が伸び悩む時期もあるため、今後の更なる利用増に向けた取り組みを期待したい。</p>				

4 管理経費の収支状況

① 収入			
項目	内訳	金額（円）	
利用料金収入	本館	一般 1,122 人、高校生以下 4,347 人、 就学前の者 150 人	1,904,400
	キャンプ場	一般 0 人、高校生以下 0 人、就学前の者 0 人	0
	宿泊を伴わない 利用	一般 662 人、高校生以下 1,078 人、就学前の者 502 人	120,100
指定管理料	指定管理者による本施設への振り分け	60,188,000	
企画事業等収入	32 事業	927,190	
その他活動収入	出前講座 94 団体	670,300	
プログラム活動料金		1,735,970	
食事代		10,155,400	
シーツ等クリーニング代		762,790	
雑収入		106,118	
合計		76,570,268	
	収入未済額	0	
	うち利用料金収入分	—	

② 支出		
項目	内訳	金額（円）
人件費		43,225,931
運営管理費	旅費、管理費、活動プログラム費等	10,605,689
維持管理費	光熱水費、業務委託費、施設修繕費	29,946,891
企画事業費		696,786
合計		84,475,297
【点検・調査結果及び評価】		
利用料金収入については適正に収納され、指定管理料と併せて施設管理運営に必要な経費に適切に使用されている。		

5 利用者調査結果

調査実施 内容	調査年月日	令和4年4月1日～令和5年3月31日											
	調査方法	全ての利用者団体にアンケート調査を実施											
	調査対象数	148 団体											
調査結果	調査分野	回答内容											
		非常によい		よい		普通		あまりよくない		悪い		無回答	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
	集団生活を学ぶ場	135	91.2	13	8.8	0	0	0	0	0	0	0	0
	活動内容	122	82.4	14	9.5	0	0	0	0	0	0	12	8.1
	職員の受入れ対応	131	88.5	13	8.8	1	0.7	1	0.7	1	0.7	1	0.7
	職員の指導・助言	133	89.9	13	8.8	2	1.4	0	0	0	0	0	0
	食堂スタッフの対応	104	89.7	10	8.6	1	0.9	1	0.9	0	0	30	※1
	食事の質	95	77.2	17	13.8	11	8.9	0	0	0	0	25	※2
	食事の量	92	75.4	21	17.2	9	7.4	0	0	0	0	26	※3
	屋内の施設・環境	122	82.4	17	11.5	3	2.0	1	0.7	0	0	5	3.4
	屋外の施設・環境	117	79.1	20	13.5	3	2.0	1	0.7	0	0	7	4.7
	また利用したいか	ぜひ				機会があれば				利用しない		無回答	
		129	87.2			17	11.5			0	0	2	1.4
利用者からの意見等													
【点検・調査結果及び評価】 ほとんどの質問項目において「非常によい」、「よい」と回答した合計が全体の9割を超えており、利用者の満足度は高いと評価できる。													

※1～3 食事をとっていない団体は無回答のため、比率計算の分母に算入せず。

6 意見・苦情等の対応

利用者からの意見・苦情等	改善状況
特記事項なし	
【点検・調査結果及び評価】	

7 昨年度の評価で、改善を指摘された事項に対する対応

指摘事項	改善内容・結果
コロナ禍で減少した利用回復に向けて広報活動を行うこと。	校長会やPTA総会等の場を利用し、新たな利用者の確保に向けた広報活動を行った。また、施設の Facebook や Instagram を活用して随時情報発信を行った。更新頻度を高めることで、前年度と比べユーザー数が倍増した。
【点検・調査結果及び評価】 SNS 等を活用した積極的な広報活動により、施設の認知度向上や利用者の増加につながっている点について評価できる。	

8 その他

特記事項なし
